

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	キッセイ薬品工業株式会社					
代表者名	氏名	竹花 泰雄	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市芳野19番48号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	1 6 化学工業				
主たる事業の概要	医療用医薬品の製造販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	6, 182	6, 000	6, 221		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	13, 748		13, 777		
調整後排出量	t-CO ₂	11, 109	7, 614	7, 773		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	22		19		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	72		68		

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

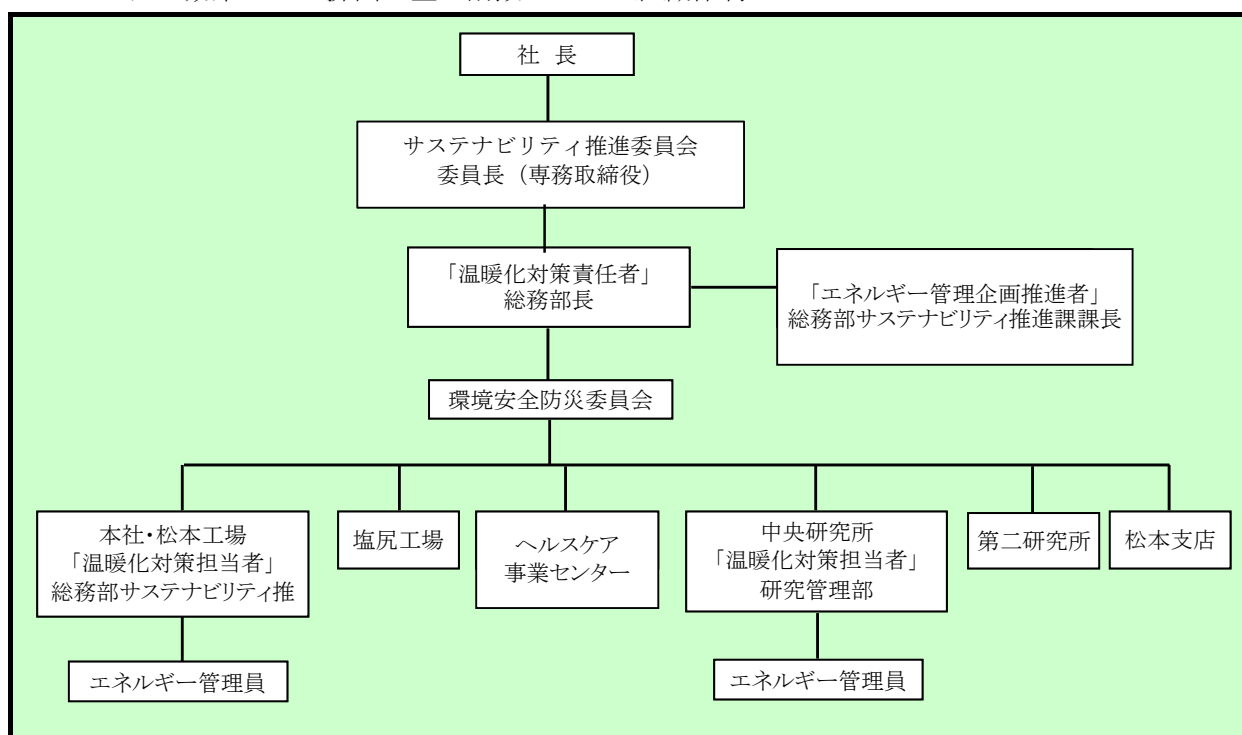
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：本社 松本市芳野19-48 時間：平日 9時から17時 担当部署及び連絡先：総務部サステナビリティ推進室 0263-25-9023
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

エネルギー起源による二酸化炭素の排出量を前年度比1%削減をおこなう。（電力による二酸化炭素排出量は調整後排出基準による計算）						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	2030年度 CO2排出量46%削減 (2013年度比) (スコープ 1, 2)
削減計画の概要	「信州Greenでんき」を主要事業所に導入する(2022年度から開始)等、再生可能エネルギー利用を推進し、二酸化炭素排出量を削減する。その他ハイブリッド車の導入等の施策の検討実施をすることにより、削減目標の達成を推進する。					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

事業所環境部会	1 回／月
環境安全防災委員会	2 回／年

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	72	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	68	t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	ボイラ	ボイラ更新 (中研 製剤)	2024～ 2025	6		
2	エネ起	熱源設備	R-2チラー更新 (中研 製剤)	2024			
3	エネ起	ボイラ	ボイラ更新 (二研 3号機)	2025	2		
4	エネ起	生産設備	生産用チラー更新 (塩尻)	2023		2023	
5	エネ起	ボイラ	ボイラ更新 2/3 (塩尻)	2023	4	2023	4
6	エネ起	受変電・配電設備	受電設備更新 (ヘルスケア)	2025	5		
7	エネ起	照明設備	製品倉庫水銀灯LED更新 (ヘルスケア)			2023	15
8	エネ起	空調機	第二製剤棟 空調機更新 (本社、松本)			2023	4
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書 (再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	5,878	13,138 (2023年に中央研究所、ヘルスケア事業センター、第二研究所で導入予定。使用量は昨年度の当該事業所の実績から算出)	13,373		
うち県内産	千kWh/年	5,878	13,138	13,373		

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	9,168	2	9,126				
1,500k1未満	5	4,579	5	4,651				
合計	7	13,748	7	13,777				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	14	10		
合計	14	10	0	0
自動車総数	22	19		
次世代自動車導入割合	63.6	52.6		

1 4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	マイカー通勤率が高いため、定期的に「信州スマートムーブ」などの啓発により、ノーマイカー通勤を啓発している。
自転車の利用促進	上記啓発において、自転車による通勤も同時に推奨している。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	受付部署等でアイドリングストップの啓発をおこなっている。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	なし

1 5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
<input checked="" type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2019
<input checked="" type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している	2023
<input checked="" type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	2000
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/>	ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/>	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
<input type="checkbox"/>	その他		

1 6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

2023年6月にTCFD提言への賛同を行った。また、2023年4月より長野県内の主要事業所（中央研究所、第二研究所、ヘルスケア事業部）について、信州Greenでんきの購入を開始した。 毎年9月に信州大学学生を相手に環境法務実習を実施している。 なお、計画書の記載は変更いたしません、2024年7月時点での昨年度の提出の計画表からの変更点を記載します。 ・4 基本方針 「エネルギー起源における二酸化炭素の排出量を前年度1%削減をする。 ・4 削減計画の概要 「信州Greenでんき」を主要事業所に導入する（2022年度から開始）等、再生可能エネルギー利用を推進し、二酸化炭素排出量を削減する。その他省エネ設備への置き換えの検討実施をすることにより、削減目標の達成を推進する。 ・4 イニシアチブ参画状況 その他 TCFD低減への賛同を表明している。 ・5.1 組織体制 変更前（社長）⇒変更後 取締役会議長 CEO ・5の2 会議体 サステナビリティ推進委員会 4回/年
--